

平成25年度「やまぐちグリーン部材クラスター」

研究成果発表会 in Tokyo

山口県は、平成21年度から「文部科学省 地域イノベーション戦略支援プログラム(グローバル型)」を活用して、世界に通用する新技術の研究開発を進め、新たな産業の創出を目指す「やまぐちグリーン部材クラスター」に取り組んでいます。

本研究発表会は、これまで5年間の研究成果や取組事例を広く発信して、新たな企業や研究機関等との連携・ネットワークを広げることが目的として開催します。

日時 平成25年11月8日(金)

13時00分から16時50分まで

場所 第一ホテル東京シーフォート

ハーバーサーカス

〒140-0002 東京都品川区東品川2-3-15

参加
無料

13:00~13:05 主催者挨拶 本部長 三浦 勇一

13:05~13:15 来賓挨拶 文部科学省・経済産業省

13:15~13:30 概要説明

◆ 山口県の素材産業力を生かしたやまぐちグリーン部材クラスターの取組 事業総括 倉重 光宏

13:30~14:50 研究成果発表

- ◆ LEDの高効率化のための研究開発 山口大学 教授 只友 一行
明るく高効率のLEDを実現するため、高品質な窒化ガリウムを成長させたサファイア基板及び自立窒化ガリウム基板によるLED部材の研究開発
- ◆ LED等光技術の農業・漁業への応用研究 山口県産業技術センター 専門研究員 吉村 和正
食の安全、農産物・漁獲物の高付加価値化、また、環境に優しく、持続型農業・漁業の実現を目的として、LED等光技術を農業では農作物の病害防除・生育制御に、漁業では狙った魚種・体長の選択漁獲に応用する研究開発
- ◆ ナノ粒子のグリーン部材への応用 山口東京理科大学 教授 戸嶋 直樹
液晶では高速応答・省電力化を、温度差を利用する有機熱電材料では発電の効率アップを、光学フィルムでは低価格化を図るため、ナノ(nm:ナノメートル)サイズの粒子を加えて材料の持つ特性を高める研究開発
- ◆ 廃シリコンの減量と再生に関わる研究開発 山口大学 教授 小松隆一 ・ 教授 中山 雅晴
半導体・太陽電池に使用されているシリコンの製造ロスを減らすシリコン融液に濡れない多孔質基板の開発と、廃棄されるシリコン屑を臭化水素を使用し化学的にシリコンに再生する研究開発

15:00~16:00 取組事例発表

- ◆ LED用高機能基板の開発 (株)山口光半導体研究所
- ◆ トクヤマのグリーン部材への取組み事例 (株)トクヤマ
- ◆ 光による植生抑制・果皮着色装置の開発 長山電機産業(株)
- ◆ LED水中誘魚灯の開発 水口電装(株)
- ◆ 高速応答NTN-FSC-LCDを用いた透明ディスプレイ (株)HDT
- ◆ OPTIPRO-microによるナノ粒子添加液晶セルの界面解析 シンテック(株)
- ◆ 水アトマイズ法による金属粉末の製造 日本アトマイズ加工(株)
- ◆ LEDディスプレイのブラックマスクの開発 (株)ストロベリーメディアアーツ

16:00~16:50 ポスターセッション

◆ 研究成果および参画企業のポスター展示・意見交換

16:50 閉会

◆ 交流会

(17:15~18:45)

グランカフェ

参加費：3,500円

主催 やまぐちグリーン部材クラスター本部

共催 山口大学・山口東京理科大学・水産大学校
宇部工業高等専門学校・山口県
やまぐち産業振興財団・山口県産業技術センター

後援 文部科学省・園芸学会・高分子学会・照明学会・電気学会
電子情報通信学会・日本化学会・日本機械学会・日本水産学会

協賛 化学工学会・日本液晶学会・日本太陽エネルギー学会

● お問い合わせ ●

地方独立行政法人 山口県産業技術センター
クラスターセンター

〒755-0195

山口県宇部市あすとびあ4丁目1番1号

☎ 0836-53-5061 fax 0836-53-5072

e-mail : ygc@iti-yamaguchi.or.jp